

平成29年度事業報告

羽曳野市社会福祉協議会は、昨今の核家族化、少子高齢化に伴う地域社会の変化とあわせ、地域に求められる役割が大きくなる中で、包括的な支援体制が求められています。

第3期羽曳野市地域福祉活動計画は市の第3期羽曳野市地域福祉計画と連携しながら、「一人ひとりの想いをつなぎ 結びあう地域づくり」を基本理念に、だれもが住み慣れた地域で安心して健康で暮らせる社会の実現をめざして、区長や民生・児童委員をはじめとする地域の皆さまと共に取り組みました。また行政や府社会福祉協議会、専門機関などとも連絡協議しながら、各種の地域福祉・在宅福祉活動などの推進に努めました。

地域福祉活動では、各校区の校区福祉委員会が主体となって実施していただいている「ふれあい食事サービス」「子育てサロン活動」「小地域ネットワーク活動」「ふれあいネット雅び」「子ども食堂」などの活動に参画・支援を行い、地域住民による支えあい助けあいを促進するとともに、地域課題の解決に向けて努力しました。

平成30年3月10日に大規模災害に備え「第1回災害ボランティア養成講座」を開催し被災地支援に携わった方のお話を聞き多くの市民の参加をいただきました。

個別支援活動では、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の行う総合福祉相談をはじめ、保育園で行っているスマイルサポーターによる相談を行い個別の課題解決に向けて努力しました。また、コミュニティソーシャルワーカーが中心となり、医療・福祉専門職・学校など分野を越えた専門職のネットワーク構築に取り組みました。

在宅福祉活動では、訪問介護事業、居宅介護事業など利用者に寄り添った介護事業を行いました。

各種募金活動等の推進では、日本赤十字社の活動資金、共同募金、歳末たすけあい運動募金、献血推進事業、災害時義援金活動に取り組み、多くの皆さまからご支援をいただく事が出来ました。

「あおぞら保育園」と「ベビーハウス社協」の2カ所の認可保育園では安心安全な保育園として、園児の健やかな成長を願い保護者に寄り添った保育サービスに努めました。そして、地域の子育て支援の拠点として、育児相談や園庭開放などを実施し、保護者や地域の皆様から信頼され、親しまれる保育園運営を行いました。

又、「ベビーハウス社協」では、平成30年度より定員を90名から120名に増員するため大規模改修工事を行いました。財政運営にあたっては経費削減に努め健全化を図りました。

当会が実施する自主事業の貴重な活動財源となる「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」は、多くの住民からあたたかいご協力をいただき、平成29年度は昨年引き続き安定的な組織運営と基盤の強化をはかる事が出来ました。

以上のとおり各種受託事業をはじめ、在宅福祉活動や保育園事業などの自主事業においても、健全な運営を行う事ができました。

事業ごとの取り組み内容は以下のとおりです。

平成 29 年度 事業 報告

■ 役員会議

・理事会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成29年5月10日	保健センター	1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度収支決算について	12人
平成29年5月25日	保健センター	1. 会長・副会長の選出について	12人
平成30年2月28日	保健センター	1. 定款の一部改正(案)について 2. 平成29年度第1次補正予算(案)について 3. 平成30年度事業計画及び予算(案)について	13人

・評議員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成29年5月25日	保健センター	1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度収支決算について 3. 理事・監事の選出について	21人
平成30年3月9日	保健センター	1. 定款の一部改正(案)について 2. 平成29年度第1次補正予算(案)について 3. 平成30年度事業計画及び予算(案)について	21人

・監査

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成29年4月27日	別館3階特別会議室	平成28年度会計監査	2人

■ 組織強化

自主財源確保の福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金 (平成30年3月31日現在)

平成29年度 2,232,300円 積立金額 127,157,038円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

4,954,330円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

245,000円

■ 社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名 称	発行回数	発 行 月 等	備 考
社協だより	年4回発行	5月・8月・10月・1月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年4回発行	3・6・9・12月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年12回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	———	毎月更新 http://www.hasyakyo.net/	
介護保険事業連だより	年6回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会 ・在宅部会 ・施設部会 ・地域密着部会

■ 地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内 容	場 所
平成29年 7月 5日	校区福祉委員会連絡会	市役所A棟中・東会議室
平成29年 12月12日	子育てサロン交流会	市役所別館3階会議室
平成28年10月27日	校区福祉委員会 災害時地域支援ボランティアリーダー研修会	市役所別館3階会議室
平成30年 2月 13日	小地域ネットワーク活動リーダー研修会	国際交流センター

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。

地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動における地域福祉推進に繋がりました。

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

平成25年12月に結成した福祉施設連絡会において、総会および研修会を開催し今後の取組みについて話し合うとともに、それぞれ社会福祉法人間での情報交換・交流を深めました。

開催年月日	開催場所	研修内容
平成29年5月 5日	LIC はびきの	市民フェスティバル出店（法人紹介のDVD等の放映） （共催 羽曳野市介護保険事業者連絡協議会）
平成29年7月 3日	別館2階研修室	1. 羽曳野市福祉施設連絡会 総会 2. 研修会 テーマ：「ストレス及びメンタルヘルスに関する基礎知識」 講師 社会福祉法人永寿福社会 課長 浅井 祐子 氏
平成29年7月14日	別館3階会議室	ボランティア相談会
平成29年11月 3日	西浦東小学校	石川福祉フォーラムに参加
平成29年11月14日	別館3階会議室	HUG体験参加
平成29年11月14日	埴生南小学校	福祉教育授業に参加
平成29年12月12日	西浦東小学校	福祉教育授業に参加

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ地域福祉の増進に寄与しました。

校区名	各事業の実施箇所数					(単位：箇所)	
	いきいきサロン (喫茶サロン含む)	ふれあい食事 サービス	地域リハビリ 事業	世代間 交流	子育て支援 こどもの居場所 (サロン)活動 ※1	小地域 ネットワーク ※2	雅び ※3
1 古 市	5	5	0	1	1	H11	H15
2 高 鷲 北	2	2	0	2	1	H11	H14
3 埴 生	7	10	0	1	2	H13	H16
4 埴生南	13	11	2	1	1	H12	H16
5 羽曳が丘	1	1	1	4	1	H10	H14
6 丹 比	4	0	0	1	1	H11	H16
7 駒ヶ谷	0	6	0	1	1	H14	H17
8 古市南	10	3	2	2	2	H14	H15
9 西 浦	7	5	0	1	1	H13	H18
10 西浦東	1	7	0	1	1	H12	H24
11 恵我之荘	2	5	0	4	2	H12	H14
12 白 鳥	3	3	0	1	1	H12	H15
13 高 鷲	1	10	0	1	1	H10	H14
14 高鷲南	6	6	0	2	1	H10	H14
合 計	62	74	5	23	17		

※1 古市校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※2 小地域ネットワーク事業

小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動（設置年度）

※3 ふれあいネット雅び

小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティーネットの確立を目指す活動（設置年度）

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図りました。

日付	学校名・学年	派遣ボランティア	内容
平成29年10月20日	高鷲北小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成29年10月13日	西浦小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成29年9月15日	古市小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成29年11月17日	高鷲小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成29年11月24日	恵我之荘小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成29年11月27日	埴生小学校・3年生	当事者とガイドヘルパー	視覚障がい者の日常生活の話を聴く
平成30年2月23日	高鷲小学校・3年生	筆記通訳グループはびきの	聴覚障がい者の日常生活の話を聴く 手話と要約筆記
平成30年2月8日	西浦東小学校・3年生	筆記通訳グループはびきの	聴覚障がい者の日常生活の話を聴く 手話と要約筆記

・コミュニティソーシャルワーカー事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という2本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動にいかし、また地域支援活動が個別支援活動にいかされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

◎CSW介入の必要性

- ・制度の利用は可能であるが、本人が支援を拒否される場合、ゆるやかな見守り体制を構築していく必要のある事例。
- ・家族の中で複合的な課題を抱えている場合、障害・高齢・児童それぞれの制度につないでいく必要のある事例。
- ・民生児童委員が地域で発見し把握された相談の中で、専門職支援が必要のある事例。

◎CSW介入の成果

- ・複合的な生活課題を抱えられている方からの相談をワンストップで受け、関係機関につなげ、スムーズな支援につなげることができる。

◎最近多くなっている相談

- ・「家族の問題」としてずっと潜在化しており、問題が顕在化した時には、生活が立ち行かなくなってしまう事例（50代ひきこもりの子・80代高齢親子）
- ・子育て不安、介護負担など「ちょっとした相談」をする人がいなくて、抱え込んでいる事例 など

① 地域支援活動

	東 部	西 部	合 計
<u>第3期羽曳野市地域福祉計画の推進</u> 第3期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、 羽曳野市地域福祉ネットワーク交流会、教育福祉連絡会、羽曳野市地域自 立支援推進会議、要保護児童対策協議会、市CSW連絡会、中河内・南河 内CSWブロック会議、エリア・ブランチ会議、大阪しあわせネットワー ク羽曳野市CSW・スマイルサポーター連絡会等	92回	72回	164回
<u>住民懇談会の開催</u> 子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議	73回	71回	144回
<u>要援護者の組織化支援</u> 介護者家族の会・高次脳機能障がい当事者の会、家族の会の取組み支援	12回	6回	18回
<u>地域住民などを対象とする研修会の開催</u> ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会 認知症サポーター養成講座等	12回	9回	21回
<u>災害時要援護者支援ネットワーク構築事業</u> 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	15回	11回	26回
<u>地域拠点へのアウトリーチ（出張相談）</u> ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」 コミュニティひろば、西浦ほっとサロン、カフェさんさん、喫茶ひだまり ふるなん高齢者パソコン教室、ふるなん喫茶「絆」、喫茶サロン「いしか わ」、等への訪問相談・移動販売車停留所での相談受付	85回	60回	145回

② 個別支援活動

(単位：件)

相談内容別	東 部	西 部	合 計
	件数	件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	106	32	138
生活に関する身近な相談	52	51	103
健康・医療に関する相談	25	15	36
生活費に関する相談	16	7	23
就労に関する相談	2	3	5
多重債務に関する相談	8	4	12
財産管理・権利擁護に関する相談	14	2	16
子育て世帯に関する相談	18	5	23
DV・虐待に関する相談	5	3	8
災害時要援護者に関する相談	45	25	70
その他	3	1	4
合 計	281	144	425

(単位：件)

相談対象者別	東 部	西 部	合 計
	件数	件数	件数
高齢者	100	66	166
(うち)一人暮らし高齢者	86	(60)	146
(うち)高齢者のみの世帯	12	(1)	13
(うち)その他の高齢者	2	(5)	7
障がい者 ※1	46	8	54
(うち)身体障がい者	6	(3)	9
(うち)知的障がい者	13	(1)	14
(うち)精神障がい者	27	(4)	31
子育て中の親子	6	4	10
一人親家庭の親子	3	0	3
青少年	0	0	0
生活困窮者	34	2	36
社会的孤立(ひきこもり)	4	4	8
その他(一般)	3	4	7
合 計	196	88	284

※1 障がい者においては、重複障害の方を「1」と数えています

・福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)

大阪府社会福祉協議会・大阪後見支援センターからの委託事業で、対象者は認知症や知的障がい精神障がいなどで判断能力が不十分な方である。平成29年度は、増加している利用者へのサービスの質の向上を大きな目標としてきました。

相談者	一般相談 件数	サービス提供の ための訪問回数	新規契約 件数	解約件数	年度末 実利用者数
認知症高齢者	48件	282回	5件	1件	11人
知的障がい者	45件	548回	1件	1件	17人
精神障がい者	81件	595回	4件	1件	16人
その他	1件	0回	0件	0件	0人
合計	175件	1425回	10件	3件	44人

専門員・支援員参加の研修会等

大阪後見支援センター主催の各種会議・研修会に参加

・心配ごと相談事業

地域内の心配ごとや悩みごとに対処するため、民生委員の協力により心配ごと相談事業を、東部地区・西部地区それぞれほぼ毎月2回実施し、地域福祉の向上に寄与しました。

(取扱件数) ・相談員 延121人

・相談件数 15件 (内 東部地区相談件数 12件・内西部地区相談件数 1件)

(単位：件)

相談事項	東 部	西 部	相談事項	東 部	西 部
生 計	1	0	財 産	2	0
年 金	2	0	事 故	1	0
職業・生業	0	0	児童福祉・母子保健	0	0
住 宅	3	0	教育・青少年	0	0
家 族	5	1	障がい者（児）福祉	0	0
結 婚	0	0	母子福祉・父子福祉	0	0
離 婚	0	0	老人福祉	1	0
健康・保健・衛生	4	2	苦 情	1	1
医 療	1	0	そ の 他	4	1
人権・法律	0	0	合 計	25	4

※一度に複数の相談事項がある場合があるため、相談事項件数の合計と相談件数は一致しません。

・老人会食会事業

小学校区ごとに、校区内のひとり暮らしの高齢者を対象に年3回給食ボランティアの会食サービス「あじわい」と民生委員の協力により会食会を実施。地域との交流を深めるとともに健康増進に寄与しました。

【参加人数】

(単位：人)

校 区	第1期	第2期	第3期	計
古 市	76	70	74	220
古市南	66	71	76	213
白 鳥	41	31	24	96
高 鷲	31	33	29	93
高鷲北	31	34	33	98
高鷲南	29	29	29	87
恵我之荘	36	37	35	108
埴 生	66	63	57	186
埴生南	60	57	47	164
羽曳が丘	83	66	80	229
西浦東	27	30	32	89
丹 比	43	42	42	127
駒ヶ谷	52	53	54	159
西 浦	34	34	31	99
合 計	675	650	643	1,968

計42回開催 延べ参加人数1,968人

※駒ヶ谷校区、西浦校区は配食

・生活福祉資金貸付事業

低所得階層の生活の向上ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

【貸付状況】

区 分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	60件	116件	32件	6,377千円
教育支援資金	38件	82件	35件	28,549千円
総合支援資金	2件	2件	0件	0千円
不動産担保型生活資金	4件	17件	0件	0千円
緊急小口資金	18件	35件	3件	260千円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件	0円
合 計	122件	252件	70件	35,186千円

・災害時要援護者支援ネットワーク構築事業

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、町会や校区福祉委員会など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようというものです。また、この制度に登録された方は、そのまま「あんしんシステム」に登録されることになります。

従来の「あんしんシステム」の枠をひろげ、地域の見守り、支えあいの輪がいつそう広がりました。

災害時要援護者

- ①身体障がい者手帳（1級、2級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
- ②療育手帳（療育A）の交付を受けている方
- ③精神障がい者保健福祉手帳（1級）の交付を受けている方
- ④障がい者手帳をお持ちで一人暮らしの方
- ⑤要介護度3以上の方
- ⑥65歳以上のお一人暮らし、75才以上のみの世帯
- ⑦昼間のみ⑥の状態になる方
- ⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
- ⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（平成29年3月末現在）

古 市	高鷲北	埴 生	埴生南	羽曳が丘	丹 比	駒ヶ谷	古市南
661人	269人	598人	546人	638人	450人	133人	553人

西 浦	西浦東	恵我之荘	白 鳥	高 鷲	高鷲南	合 計
354人	179人	428人	249人	444人	558人	6,060人

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が行われました。

校区ごとの参加人数

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
406人	597人	476人	430人	406人	481人	564人	252人

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんぴ	こまがたに	合計
321人	263人	477人	208人	246人	48人	5,175人

■高年生きがいサロン指定管理事業

介護予防を目的とした心身の健康増進や生きがいづくり活動の場を提供し、地域のボランティアの協力も得て、60才以上の高齢者の方が生き生きと健康にすごせるように管理運営しています。

利用人数

(単位：人(延))

区分	介護 予防	筋力ト レーニ ング	100歳 体操	自主 事業	団体 利用	カラ オケ	囲碁 将棋	バン パー	卓球	筋トレ マシン	合計
2号館	1,755	0	1,539	1,096	1,615	0	207	0	0	0	6,212
3号館	1,272	0	2,077	528	2,231	0	0	0	0	0	6,108
5号館	704	1,106	1,010	1,462	69	2,005	28	1507	1,188	0	9,079
6号館	1,127	2,180	0	583	3,193	2,943	2,261	0	575	4,325	17,187
合計	4,858	3,286	4,626	3,669	7,108	4,948	2,496	1,507	1,763	4,325	38,586

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数 291日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動できるようボランティア保険への加入促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	移送保険	合計
団体数	186件	253件	3件	1件	443件
人数	1,764人	22,857人	11人	8人	24,640人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
80件	73件	50件	10件	28件	241件

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しました。

講座名	日程・場所	内 容
ボランティア体験プログラム	平成29年 7月1日～ 9月30日	大阪府社会福祉協議会の主催で毎年開催されているプログラムで、子どもから社会人、高齢者などボランティア活動参加の機会とボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする場の提供を目的として校区福祉委員会や施設などに受入れを依頼し、共催した。
傾聴ボランティア養成講座	平成29年 7月13日・ 20日・27日 10月10日 ・17日	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止めるボランティアを養成するために開催した。(7月13日・20日・27日は初心者必須の講座、10月10日・17日はスキルアップ研修会)
平成29年度朗読ボランティア河南ブロック代表者会議	平成29年 10月11日	各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、今年度は八尾市へ出向いて「グループ会員数」「活動内容」「リスナー数」「会員のスキルアップの工夫」について情報交換をおこなった。
小学生ボランティアスクール	平成29年 8月22日	小学生ひとりひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育てるボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催した。
精神保健福祉ボランティア養成講座	平成29年 6月8日・ 15日・22日 ・29日	こころの病を持つ方が増加傾向にある現代、その方々が安心して暮らせる地域を一緒に作るために、精神障がいについて正しい知識を得ることで偏見や差別をなくすことを目的に開催した。
市民活動わくわく講座5月絵手紙ボランティア養成講座	平成29年 5月12日・ 19日・26日	水彩色鉛筆で描く絵手紙は、ぬりえ感覚で楽しめて仕上がりも色鮮やかであり誰でも気軽にできる。絵手紙を通して高齢者施設などのご利用者様の楽しみを増やし、時間を共有するボランティアを募るために開催した。
市民活動わくわく講座7月こどもとあそぶボランティア養成講座	平成29年 7月26日・ 8月3日・ 10日	こどもとゆっくり遊ぶことでこどもの様子を知り、こども主体のプレイワークや色々な居場所があることを学んで、自分にでもできるあたたかな居場所を見つけるきっかけづくりのために開催した。

市民活動わくわく講座10月 てづくりボランティア養成講座	平成29年 10月26日 11月2日・ 10日	手芸を得意として趣味である方は多く、好きなことからボランティア活動のきっかけになると知ってもらうことを目的とし、家に閉じこもりがちな地域の方々に出向いていただき手芸を通して交流の場を提供していただくために開催した。
市民活動わくわく講座11月 おりがみボランティア養成講座	平成29年 11月17日・ 24日・28日	手先が器用で、人と関わることが好きな市民の方はおそらく多数いると思われるため、自分の特技を活かして福祉ボランティアができることを知ってもらい、ボランティア活動の啓発を目的とする。また、今回の募集は男性でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい開催した。
市民活動わくわく講座2月 傾聴ボランティア養成講座	平成30年 2月7日・ 8日・9日	傾聴の知識は他のボランティア活動をおこなう場合でも必要なスキルであるため、ボランティア活動入門の場として開催した。市内でボランティア活動に興味がある方にとって気軽に始めやすい分野であることから、ボランティア入門として広い視野をもってニーズキャッチをはかった。

・ボランティア連絡会の育成・援助

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民又、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

ボランティア連絡会総会	平成29年5月11日/羽曳野市役所別館2階研修室
定例幹事会	毎月第2水曜日
その他主な活動 大阪府社協ボランティア連絡会総会 エコイベント 市民体育祭 小学生ボランティアスクール 河南ブロック交流会 市民活動フェスタ2018(いきいきパネル展) 市民活動フェスタ2018(わくわくフェスタ) 障がい者団体行事・高齢者施設行事 保健センター各種教室 福祉教育	平成29年5月31日/大阪社会福祉指導センター5階ホール 平成29年7月22日・23日/L I Cはびきの 平成29年6月11日/羽曳野市立中央スポーツ公園 平成29年8月22日/市役所別館2階研修室 平成29年9月11日/SAYAKAホール 平成30年2月24日・25日/L I Cはびきの 平成30年3月25日/エコプラザはにふ 随時 随時 随時

・災害ボランティアセンター事業

地域住民の災害ボランティアに対する意識を高めるために災害ボランティア養成講座を開催し、災害ボランティアへの参画を促しました。また、災害ボランティアセンターが立ち上がった際に使用する備品を整備しました。

第1回 災害ボランティア養成講座	平成30年 3月10日	災害ボランティアとして活動する意義や知識を学び、災害時には活動できる方を養成し、講座修了者には災害ボランティアへ登録してもらった。(参加者 26名)
---------------------	----------------	--

■実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪府立大学	6人	平成29年5月8日～5月12日	2日間
大阪府立大学	6人	平成29年5月15日～5月19日	2日間

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	1人	平成29年 6月5日～ 7月7日	180時間 23日以上
四天王寺大学	2人	平成29年11月13日～11月26日	10日間
大阪府立大学	1人	平成29年 8月 7日～ 9月 8日	23日間

・体験実習

学校名	人数	実習期間	実習時間
中央ITビジネス専門学校	2人	平成29年 8月7日～ 8月18日	10日間

■きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成27年7月1日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

○きらプロ講習会内容

活動に際して講習会を開催

きらきらシニアプロジェクトはじめて講座	平成29年 6月16日 12月 8日
きらきらシニアスキルアップ講習会	平成29年10月 6日

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

○サポーター（ボランティア）登録者数 259人

○市が指定した市内の介護保険施設などにおける介護保険支援サポーター活動を対象としている。

サポーター受入施設 64施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設を登録しています。

■ 在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保健施設との連絡調整等を行いました。

・新規相談件数・・・96件

・要介護認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	37人	36人	28人	18人	8人	127人
内29年度新規	17人	13人	9人	7人	5人	51人

・要支援認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕

	要支援1	要支援2	計
利用者数	22人	29人	51人
内29年度新規	8人	20人	28人

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) 75件 (生活保護法介護扶助) 24件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

介護度別利用状況（年度末現在利用者数） 東部

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい者世帯	計
利用者数	34人	13人	11人	10人	4人	5人	17人	94人
内29年度新規	9人	5人	5人	3人	2人	2人	3人	29人

内容別年間派遣時間数 東部

(単位:時間)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護合計	障がい	総合計
生活援助	2,256:15	916:35	738:35	512:40	142:40	45:30	4,612:15	1,268:15	5,880:30
身体介護		177:16	47:38	536:02	144:54	1,117:50	2,023:40	3,374:57	5,398:37
身体生活		125:05	816:47	698:20	135:45	1,171:30	2,947:27		2,947:27
通院・身体								35:14	35:14
通院介助								8:35	8:35
重度介護								4:00	4:00
合計	2,256:15	1,218:56	1,603:00	1,747:02	423:19	2,334:50	9,583:22	4,691:01	14,274:23

・福祉有償運送事業（移送サービス事業）

家庭において移送が困難な要介護高齢者及び重度身体障がい者に対して、ボランティアのみなさんのご協力を得ながらリフト付自動車を利用して移送サービスを実施しました。

【実施状況】利用登録者数27人 協力ボランティア8人

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出動回数	10回	7回	7回	6回	7回	7回	9回	6回	8回	6回	7回	8回	88回

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	32件	23件	17件	20件	39件	20件	39件	24件	26件	25件	21件	24件	310件

【斡旋】

紙オムツ・防水シート・失禁パンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

■介護者家族の会の育成と援助

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・援助を図りました。

日時	事業内容	場所	参加者
5月23日(火)	総会・講演【総合事業について・落語】	別館2階研修室	26人
5月23日(火)	役員会	別館2階研修室	6人
7月21日(金)	介護者のつどい【介護保険について・茶話会】	西部事務所	10人
7月21日(金)	役員会	西部事務所	5人
9月28日(木)	講座【介護食について・キューピー(株)】	西部事務所	11人
9月28日(木)	役員会	西部事務所	3人
11月13日(月)	リフレッシュバスツアー 【京都水族館・ハッ橋庵とししゅうやかた】	京都市	22人
12月1日(金)	介護者のつどい【干支の飾り物教室・交流会】	西部事務所	16人
2月16日(金)	介護者のつどい【フラワーアレンジメント・交流会】	西部事務所	13人
3月14日(水)	視察研修会 【パナソニック エイジーフリーケアセンター・ ダスキンミュージアム】	松原市・吹田市	21人

(その他) ・大阪府介護者(家族)の会連絡会総会 6月5日(月)
 ・河南ブロック介護者(家族)の会交流会 1月31日(水)

■各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える活動資金運動に積極的に取り組みました。

【社資募集実績】

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	650,250円	西浦地区	1,180,184円
高鷲地区	1,522,110円	丹比地区	286,150円
埴生地区	536,130円	日赤奉仕団扱い	58,346円
羽曳が丘地区	798,290円	大阪支部扱い	2,361,002円
駒ヶ谷地区	331,500円		
合 計			7,723,962円

【事業】・羽曳野市奉仕団研修 平成29年4月25日（別館3F会議室）
 ・防災啓発プログラム 4回開催

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【街頭募金活動】：平成29年10月2日／午前7時から近鉄各駅・スーパー前で実施

【共同募金実績額】

戸別(町会)	法人	学校	街頭	バッジ	実績額
2,975,646円	79,943円	246,429円	171,432円	554,000円	4,027,450円

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	519,650円	丹比地区	170,000円
高鷲地区	878,671円	西浦地区	399,450円
埴生地区	437,970円	駒ヶ谷地区	134,050円
羽曳が丘地区	416,855円		
合 計			2,975,646円

※地区募金会理事会 平成29年9月4日（市長会議室）

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	445,300円	丹比地区	173,500円
高鷲地区	625,003円	西浦地区	232,350円
埴生地区	547,470円	駒ヶ谷地区	118,700円
羽曳が丘地区	400,845円	事務局取扱分	124,293円
合 計			2,667,461円

(民生委員校区别実績額)

校区名	実績額	校区名	実績額
古市校区	607,200円	高鷲南校区	165,000円
古市南校区	146,000円	高鷲校区	276,092円
白鳥校区	285,000円	駒ヶ谷校区	100,000円
埴生南校区	71,677円	高鷲北校区	246,000円
埴生校区	138,000円	丹比校区	352,000円
西浦校区	196,000円	恵我之荘校区	334,000円
西浦東校区	115,000円	主任児童委員	45,000円
羽曳が丘校区	13,000円		
合 計			3,089,969円

※ 配分委員会 平成29年11月30日(市役所 別館3階 第2・3会議室)

配分内容

民生児童委員協議会福祉活動費、校区福祉員会推進費、子育てサロン運営費、子ども食堂運営費
児童養護施設お年玉、福祉施設サンタクロース訪問 他

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

献血推進協議会委員及び献血推進員と連携を図り事業の活性化に努めました。

献血推進協議会委員及び献血推進員合同会議 : 平成29年4月25日(市役所 別館2階 研修室)

・啓発活動

市広報紙・社協だよりに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内、及び大学において献血キャンペーン用のポケットティッシュを配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ml 採血	400ml 採血
1,550人	1,341人	77人	1,264人

・義援金活動**・義援金の受付**

東日本大震災	平成30年3月末現在	44,833,319円
熊本地震	平成30年3月末現在	3,890,457円
(社協受付分	全額	日本赤十字社大阪府支部に送金)

■職員研修会**・人権研修**

各部署それぞれでDVD などによる人権研修会を7回開催し127名が参加

■ 保育園の運営

あおぞら保育園

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	149	148	148	150	151	151	153	154	154	153	153	153	1,817

※認可定員：120人

保育内容

入園式・進級式・家庭訪問（新入園児）・検便（年1回）・検尿検査（年2回）
 嘱託医による健康診断（年2回）歯科検診（年1回）・保育参観（年2回）・園外保育（年8回）
 クラス懇談会（年2回）・個人懇談・七夕まつり・お泊り保育・運動会・クリーン活動・保幼交流
 芋掘り・味覚狩り・作品展・消防訓練・交通安全講習会・餅つき大会
 雪山遊び・節分・生活発表会・古市小学校体験入学・お別れバス遠足・お別れ会・修了式・卒園式・食育
 キッキング・ランチルーム・身体測定・避難訓練・お誕生日会（毎月1回）

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	61	74	88	65	40	75	74	58	31	19	31	26	642

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	85	69	89	73	68	91	84	97	82	54	77	85	954

特別教室の実施

- ・ECC 英会話教室
- ・体育指導
- ※ 3歳児より導入

子育て支援事業

- ・育児相談（開園中常時）
- ・園庭開放（年11回）
- ・子育て支援自主事業
（年18回 地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う）
- ・子育てサロン参加（年9回）

地域交流

- ・世代間交流（地域の高齢者を招いて給食会を行う）
- ・夕涼み会（園児、卒園児、地域住民と交流）
- ・敬老の日の集い（園児のおじいちゃんおばあちゃんを招待）
- ・在宅複合施設ステップ訪問（施設の利用者と交流） 10月 2月
- ・介護老人保健施設まほろば訪問（施設の利用者と交流） 11月
- ・古市校区会食会（参加者と交流） 10月
- ・クリスマス会（地域の親子参加）
- ・新年子どもの会（地域の親子参加）
- ・ひなまつり（地域の親子参加）
- ・南大阪ブロック民間保育園大運動会参加（南大阪民間保育園と交流）
- ・南大阪ブロック民間保育園サッカー大会参加（南大阪民間保育園と交流）
- ・園児の祖父農園（いちご狩り、とうもろこし収穫、芋掘り）
- ・中川さんの農園（芋ほり）
- ・古市幼稚園・誉田保育園交流 6月 10月 1月 計3回
- ・誉田中学校職業体験受け入れ 2日間 6人
- ・峰塚中学校職業体験受け入れ 2日間 4人
- ・河原城中学校職業体験受け入れ 2日間 3人
- ・高鷲中学校職業体験受け入れ 2日間 4人
- ・高鷲南中学校職業体験受け入れ 2日間 4人
- ・教育実習生受け入れ 6月1人 7月1人 8月1人 9月2人 11月1人 1月3人
2月7人 計16人
- ・ボランティア体験学習の受け入れ 8月 1人 3月 1人
- ・他施設実習生受け入れ 8月 1人

職員研修

園長・園長代理研修

- ・職員の心のケア 7/11、18
- ・メンタルヘルス 7/3
- ・キャリアパス 1/15、26
- ・経営支援セミナー 2/14
- ・スマイルサポーターフォロー 3/13

保育士研修

- ・保育の質を高める 1人（4/27）
- ・衛生講習会 1人（5/30）
- ・衛生管理 1人（5/31）
- ・感染症食中毒予防対策講習会 1人（6/14）
- ・人権保育講座 1人（6/2, 7/14, 9/8, 10/27）
- ・サービスマナー 1人（6/15、16）
- ・子育て支援講座 1人（6/8、9/14）
- ・救命講習会 12人（6/19）
- ・スキルアップ中堅 1人（7/5, 10, 18, 25）
- ・保育、教育の質の向上と評価 1人（7/11）

- ・事故防止 1人 (7/13) 1人 (7/14)
- ・食品衛生 1人 (7/18)
- ・スキルアップリーダー 1人 (8/30, 9/5, 9/12, 9/22)
- ・大阪しあわせネットワーク 1人 (8/30)
- ・地域福祉実践力向上 1人 (9/4)
- ・発達障害 1人 (9/20)
- ・人権問題 1人 (10/5)
- ・リスクマネジメント 1人 (10/13)
- ・食支援 1人 (10/18)
- ・テーブルマナー 2人 (10/21)
- ・給食施設の減塩 1人 (10/24)
- ・感染症予防 1人 (11/8)
- ・食事の基礎 1人 (11/9)
- ・主任保育士研修 2人 (11/9)
- ・子どものやる気 1人 (11/28)
- ・給食センター見学 1人 (11/29)
- ・虐待予防 1人 (12/20, 1/5)
- ・人権 1人 (1/16)
- ・新保育所保育指針 1人 (1/31)
- ・相談のヒケツ 1人 (2/3)
- ・子どもの理解 1人 (3/2)
- ・スマイルサポーターフォロー 1人 (3/13)

ベビーハウス社協

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	106	106	106	106	110	106	106	109	109	110	110	110	1,289

※認可定員：90人

保育内容

入園進級式、個人懇談(年1回)、クラス懇談、参観(年2回)、幼児遠足(春・秋)、乳児お散歩遠足、こいのぼり見学(5歳児)、さくらんぼ&いちご狩り(4, 5歳児)、じゃがいも掘り(4・5歳児)、南大阪ブロック大運動会参加(5歳児)・七夕まつり、消防訓練、プール活動、お泊まり保育、便・尿・内科検診(年2回)、歯科検診、ぶどう狩り(あおぞら保育園と合同・5歳児)、運動会、さつまいも掘り(幼児)、ハロウィン・クリスマス会、大根抜き(5歳児)、大そうじ、クッキー作り、節分、ひなまつり、ゆめっこの会、お別れ遠足、卒園式、

※毎月1回お誕生日会、避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	65	64	75	87	60	67	85	81	47	43	62	72	808

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	47	63	38	39	49	48	50	47	52	16	13	7	469

緊急一時保育

7時～22時（日曜日は9時～17時）

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野市内の園児数	190	212	216	207	188	179	201	167	173	197	181	224	2,335
他市町村の園児数	14	18	28	24	20	28	18	15	13	9	12	20	219

家庭支援推進保育所事業（育児相談・家庭訪問）

配慮を要する入所児童への家庭訪問、育児相談・・・41件

在宅子育て家庭への家庭訪問、育児相談・・・50件

子育て支援事業

- ・園庭開放（ベビっこひろば）（年6回）
- ・ベビーハウスまつり（年1回）（5/28）
- ・子育てサロン（年8回）：恵我ノ荘サロンへの保育士派遣

大阪しあわせネットワーク社会貢献事業

- ・生活困窮者レスキュー事業・・・1件

地域交流

- ・世代間交流（北宮中部公民館にて実施されているお年寄り会食会に年長組が参加し交流）（6/14）
- ・ベビーハウスまつり（園児、卒園児、地域住民と交流）（5/28）
- ・西松庵のお年寄りの方との交流（6/8・11/2）
- ・尼丁さん畑（さくらんぼ狩り（5/10）、いちご狩り（5/18）・じゃがいもほり（6/8）
さつまいもほり（11/2）・大根の収穫（12/19））
- ・南大阪ブロック民間保育園大運動会参加（南大阪民間保育園と交流）（6/20）
- ・高鷲南中学職業体験学習の受け入れ 4人（2日間）（11/9、11/10）
- ・高鷲中学職業体験学習の受け入れ 5人（2日間）（11/16、11/17）

- ・教育実習生の受け入れ 計13人
 - 関西女子短期大学 保育科 2名 29年7/27~8/7
 - 大阪女子短期大学 幼児教育科 3名 29年8/17~8/30
 - 四天王寺大学短期大学部 保育科科 3名 29年8/28~9/8
 - 関西女子短期大学 保育科 2名 30年1/25~2/5
 - 四天王寺大学短期大学部 保育科 3名 30年2/1~2/15
- ・四天王寺短期大学保育部「出前保育実習」の受け入れ 31名 (11/24)
- ・社協実習生 四天王寺大学人文社会部受け入れ1名 (6/30)
- ・主任児童委員 研修受け入れ 4名(6/5)

職員研修

園長研修

- ・施設連絡会議研修会「ストレス及びメンタルヘルスに関する基礎知識」(7/3)
- ・人権研修「福祉現場における障がい者虐待・差別・排除の課題を考える」(7/18)
- ・大阪しあわせネットワーク「相談援助技術研修会」(8/30)
- ・保育所保育指針改定研修会 (9/14)
- ・メンタルヘルスに関する研修会 (11/27)

保育士研修

- ・危機管理危機対応研修(4/11)
- ・一時保育について (4/17)
- ・感染症食中毒予防対策講習会 1人(6/14)
- ・「プール活動 塩素の取り扱いについて」
- ・衛生講習会 (11/14)
- ・人権研修DVD研修31名 (3/27)
- ・救急蘇生DVDによる研修(全職員) (6/21~/23)